

高取町 市尾墓山・宮塚古墳、与楽古墳群の整備について

【担当省庁】文化庁

高取町における取組

●市尾墓山古墳、市尾宮塚古墳
(現状)

古墳時代後期(6世紀初頭～中頃)に築造された前方後円墳。

	市尾墓山古墳	市尾宮塚古墳
国指定史跡	昭和56年	昭和56年
築造時期	6世紀初頭	6世紀中頃
大きさ	全長約100m	約70m
出土遺物	鳥形木製品、笠形木製品等	多量の馬具、武器、武具、玉類等
整備(墳丘部)	整備済	未整備

(課題)

市尾墓山古墳は、墳丘部は整備済みであるが、駐車場やトイレ等来訪者の便益施設は未整備である。

市尾宮塚古墳は、墳丘部等全く未整備である。



市尾墓山古墳
(墳丘部整備済み)



市尾宮塚古墳
(未整備)

●与楽古墳群(与楽カンジョ古墳、与楽罐子塚古墳、寺崎白壁塚古墳)
(現状)

貝吹山から南に伸びる丘陵の南端に築かれた古墳群。

	与楽カンジョ古墳	与楽罐子塚古墳	寺崎白壁塚古墳
国指定史跡	平成25年	平成25年	平成25年
築造時期	6世紀末-7世紀初頭	6世紀後半	7世紀前半
大きさ	1辺約36m	28m	20～35m
出土遺物	金銅製耳輪、鉄鏝等	耳環、多量の馬具、玉類	ミニチュア土器等
整備(墳丘部)	整備済	未整備	未整備

(課題)

与楽カンジョ古墳は、墳丘の復元整備は完了している。しかし周辺広場の整備、来訪者の便益施設(トイレ、駐車場等)は未整備。

また与楽罐子塚古墳、寺崎白壁塚古墳は全く未整備。



与楽罐子塚古墳
(未整備)



寺崎白壁塚古墳
(未整備)

与楽カンジョ古墳
(墳丘部整備済み)



国にお願いすること

国指定史跡『市尾墓山古墳、宮塚古墳』及び国指定史跡『与楽古墳群(与楽カンジョ古墳・与楽罐子塚古墳・寺崎白壁塚古墳)』が後世に伝えるべき国の重要な文化財であることから、適切に保存することと併せて古墳を中心とした施設(公園)にすることにより来訪者の憩いの場所として提供する整備の補助。

●国指定史跡『市尾墓山古墳・宮塚古墳』

事業費(国50%、県15%、町35%)

令和5年度 4,000千円(市尾墓山古墳・宮塚古墳保存活用計画策定、土地鑑定料等)

令和6年度 一円(土地の公有化に向けた意見具申等)

令和7年度 一円

令和8年度 50,000千円(市尾宮塚古墳墳丘部整備、市尾墓山古墳便益施設整備等)

●国指定史跡『与楽古墳群(与楽カンジョ古墳、与楽罐子塚古墳、寺崎白壁塚古墳)』

事業費(国50%、県15%、町35%)

令和5年度 20,533千円(与楽カンジョ古墳東側広場整備、史跡標柱、ベンチ等の設置)

令和6年度 25,638千円(与楽カンジョ古墳西側広場整備、解説版の設置、園路舗装)

令和7年度 一円

令和8年度 10,000千円(史跡与楽古墳群保存活用計画策定)